

# 文化財防火デー

毎年1月26日は全国一斉の文化財防火デーです



昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損しました。文化財防火デーは、文化財を火災から守ることの大切さを後世に伝え、防火意識を高めるために制定されました。昨年発生した大分市の大規模火災は、木造密集市街地における火災の恐ろしさを感じました。このような火災の発生は決して他人事ではありません。特に冬場はストーブなど火の使用が増える上、空気が乾燥しているため、火災が起こりやすい季節です。「コンセントにホコリをためない」「寝る前に火元の確認をする」など、日頃の防火対策を徹底するとともに、火災になった際に、どうやって避難するか「避難経路」の確認も大切です。日々の防火対策を徹底することで、ご自宅やご自身、そしてご家族の安全を守ることができます。

## 全国伝統的建造物保存地区協議会

### 令和7年度 近畿ブロックまちなみ保存講演会 in 大津市坂本

12月5日、大津市坂本で開催されたまちなみ保存講演会に参加しました。午前中の濱崎一志先生（滋賀県立大学 元教授）による講演では、坂本地区の特徴や歴史的背景についてご紹介いただきました。

また、令和7年4月の建築基準法改正により、伝建地区内での修理や修景が大規模なものになる場合、建築確認申請が必要になることについてお話がありました。これは多くの伝建地区にとって大きな課題となっており、今後の運用や対応方法についても考えさせられる内容でした。



午後は大津市の方の案内で現地視察を行いました。比叡山の登り口に位置する坂本は、琵琶湖から比叡山へと続く坂道が特徴的です。特に、穴太衆によって積み上げられた石垣や、町中を流れる美しい水路には心を奪われました。

その後、文化庁の高橋成美調査官による防災計画に関する講義がありました。文化財を守るための具体的な防災対策や、日頃からの備えの重要性について学び、地域住民と行政が連携して取り組む必要性を強く感じました。今回の講演会や現地視察を通じて、伝建地区が抱える課題とその魅力を改めて実感しました。

事務局：教育委員会 歴史文化財係

## 湯浅伝建地区保存協議会

皆様に瓦版をより身近に感じてもらうために、まちなみ瓦版の記事を募集しています！ご意見・ご要望などございましたら、会長まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.denken-yuasa.sakura.ne.jp/yuasa/>



各種ホームページ

# まちなみ瓦版

■令和 8年 1月 1日  
■第 77号  
■発行：湯浅伝建地区保存協議会  
■発行責任者：藪野 博孝



## 新春のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日頃より湯浅伝建地区の保存活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年は湯浅伝建地区が国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されてから、節目の20周年を迎える記念すべき年となります。この20年の歩みを振り返り、また未来への展望を描くため、記念講演会の開催や活動の集大成となる記念冊子の発行、記念グッズ制作を予定しております。

昨秋は、伝建4区合同の秋大祭渡御（とぎょ）が盛大に執り行われ、伝統の継承と地域の連携を再認識いたしました。また、地区内の建造物においても、保存整備事業が一步一步着実に進み、中には2回目の修理工事に入った家屋も出てきております。

これまでの20年間で「保存」の基盤が整えられた今、我々は次の10年に向けて、保存活動はもちろんのこと、特に「活用」を視野に入れた地区運営を進めてまいります。

未来にこの貴重な財産をしっかりと受け継いでいくため、次の世代に残していく活動を具体的に計画し、実践していく所存です。

本年も、当協議会の活動に対し、より一層のご理解と温かいご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。皆様とともに、この歴史ある町並みを守り、活かし、未来へ繋いでいくことをお誓いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

湯浅伝建地区保存協議会 会長 藪野博孝





## 保存協議会 役員会を開催しました

日時：令和7年10月23日（木） 午後7時より

場所：北の町老人憩の家

参加者：会長、副会長、幹事1名、事務局2名

内容：○重伝建選定20周年記念事業について検討しました。



- ・役場と保存協議会がともに取組み、記念シンポジウム（講演会）を開催する予定とのこと。
- ・10周年のときに作ったような記念冊子を今回も作成する。（作成は町が行う予定）
- ・記念グッズを作成してはどうか。まちづくり基金を活用して作成し、記念シンポジウム（講演会）の参加者に配布するほか、残った分は販売することも考えてみてはどうか。
- ・パネルの作成・展示について、今も甚風呂別館と湯浅まちなみ交流館に重伝建選定から10年間の修理・修景事業パネル展示を行っているが、残りの10年分も併せて、岡正と湯浅まちなみの駅休憩所にも来年度展示する方向で進めたい。

## 令和7年度 湯浅町伝統的建造物群保存地区審議会を開催

日時：令和7年11月14日（金） 午後3時より

場所：湯浅町役場 3階 委員会室

参加者：会長、委員8名、事務局5名、オブザーバー1名

- 内容：○保存修理が実施されている事業について事務局から報告がありました。
- 今年度は、前年度からの3ヵ年事業1件と今年度の新規事業2件を実施しているとのこと。
- 保存修理の要望がある事業の内容について事務局が説明を行い、審議しました。来年度は、3ヵ年事業の3年目となる1件と新規事業2件を予定しているとのことでした。
- 保存活用計画について、文化庁の示す標準にあわせた改訂を行う旨の説明がありました。

## 秋の例大祭4地区合同渡御

10月19日（日）に来年の湯浅伝建地区選定20周年プレイベントとしまして、初めて伝建地区合同で顯國神社 秋の例大祭に参加しました。初めての試みでバタバタしましたが結果大盛況の運びとなり来年に向けての弾みになりました。

神輿を担ぎたい方を広く募集しますので地区内外問わずよろしくお願いします。詳しい案内はホームページをご覧ください。



祭りの様子が  
見られます

